

大私教青年部ニュース

2018年8月
NO. 38 (今年度8)
発行: 青年部事務局

全私研にに行ってきました！！

さる7月28日～30日、新潟県妙高赤倉温泉で全国私学夏季研究集会（全私研）が行われました。大阪からは総勢50名の参加がありました。

7月27日は前夜祭。この日から参加している先生方も多く、以前会った先生方と久々の再会を果たしたり、多くの先生と新しい繋がりを作ったりと全私研の大きさと必要性を実感することができました。

28日の午前に行われた全体会では、無言館館長の窪島誠一郎さんのお話を聴きました。無言館は戦没画学生慰霊美術館であり、絵を描くという夢を続けていくことができなかつた学生が「残された10日間をどう過ごすか」と考え、自分と向き合った絵が飾られています。窪島さんが話す一つ一つの絵に対するエピソードはとても心に響きました。「絵は愛がないと描けない」という一言など、窪島さんが無言館に今まで心血を注いでこられたことが分かるとても素晴らしい講演でした。そのあとはリレートークがありました。教師になりたいと教育大学に入ったものの、ボランティアが単位として組み込まれ、今は教師になることをやめようと思っている大学生の話や、卒業してからも本当につらいことがあり、高校時代の先生の元を訪れることで解決に導かれていった方の話など現在の教育について考えさせられました。そんな中、私は「母校は母港」という言葉がとても心に響きました。私立は公立と違い、先生の入れ替えがそこまで多くありません。だからこそ、卒業した生徒がいつでも帰ってくる場所として高校は存在しなければならないのだと感じました。この日の夕食では「大阪のつどい」を行いました。



大阪の先生方でも、普段交流できない先生方もいてこの機会に仲良くなった先生も多かったようです。

29日の夜は「青年のつどい」が行われました。全国から集まった青年が交流するとともに、各ブロック（地方）からは訴えや出し物もあり、大いに盛り上がりました。他県の先生と悩みを語り合い、交流できる機会は年に数回しかありません、そんな中で本当に多くの話ができるこのような機会は絶対に逃すべきではないと感じました。



全私研は交流だけではなくありません！一日目の午後から三日目にかけては全私研の肝でも

ある分科会が行われました。様々な分科会に分かれて学びを深めました。私は三日間を通して「クラスづくりと行事」の分科会に参加しました。本当にすごい実践が多く、もっと多くの実践を聴きたい、そして学んでいきたいと感じました。30もの分科会がある中で、それぞれが自分の教育のことや置かれている環境のことを三日間学ぶというこの時間こそが、私学で教育者としてやっていくために必要なのではないと感じました。全私研を通して、多くの先生がたくさんの学びを深めることができました。また、行き帰りの旅路も学ぶことができる大切な場です。このように学ぶことの大切さ、繋がることの必要性、共感してくれる人のありがたさを感じる事ができる全私研に行くことができ、とても勉強になった三日間でした。



次回の青年部企画

ここまで読んで、「あー、全私研いきたかったな・・・」「もっと知りたい!」と思ったアナタ！8月25日に全私研のおみやげ教研が行われます。他の分科会の話が聞けたり、全私研について色々知ったりすることができますよ！**詳しくは下へ！！**

大私教青年部企画

お土産教研（通称：おみやげ）とは。。。

- ・全私研に参加できなかったから話を聞きたい！
 - ・全私研での他のレポートを聞きたい！！
 - ・全私研での興奮が忘れられなくて伝えたい！！
 - など・・・
- 全私研に対するすべての希望を叶える教研です！
ぜひ、この機会に皆で学びあいましょう。



日時：8月25日（土）
場所：新谷町第二ビル 2階（新婦人会議室）
日程：
開 場 16：30～
開 始 17：00～
夕食交流会 19：15～

お問い合わせ：
大阪私学教職員組合(06-6763-3201)
西村 健佑(TEL: 090-3678-9143 MAIL: n.s.k.a.k.mario@gmail.com)



アクセス



大阪メトロ谷町線
「谷町6丁目」駅
出口より徒歩3分

参加費
教研：無料
交流会：1000～2000円程度



